

砂防資料館 SABO MUSEUM

過去からそして明日への砂防事業




*マークは、月山と川・砂防をイメージし、これらは、新庄のSをとり3つのS (Salt, Service, Surroundings) となっている。

あなたの心と子供に未来を伝える砂防
建設省 東北地方建設局

新庄工事事務所

〒996 山形県新庄市小田島町5番55号 TEL0233(22)0251代

砂防の仕事は自然の豊かさを保っています



玉川砂防公園
清流を楽しむ子供たち



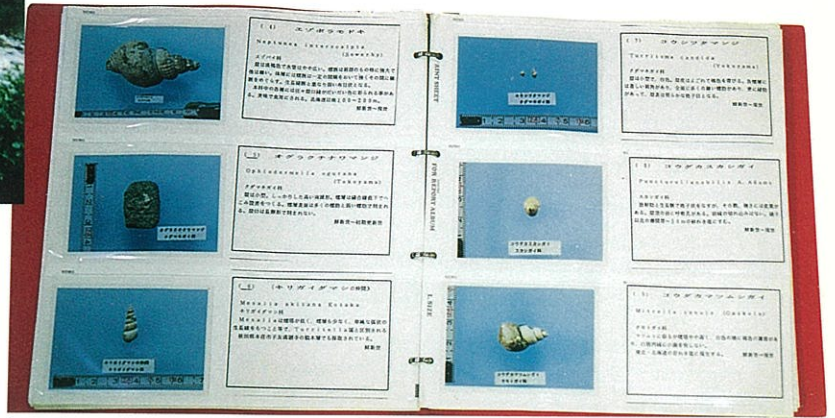
砂防ダムと町の花「山ゆり」

みんなで防ごう土砂災害
としゃさいがいぼうしげっかん
土砂災害防止月間
6/1→30

くずぼうさい
がけ崩れ防災週間 6/1→7



▲立谷沢川砂防発祥の地 第1号ダム
 (濁沢第一ダム・昭和12年着工)
 「当時の工事費・29,800円」
 現在もしっかり機能しています



▲昔は海であった
 今から800年前も昔の事。
 立谷沢川の科沢地区から発掘された化石の現物も
 展示しており、いにしへのロマンへの思いがか
 きたられます

砂防事業計画概要

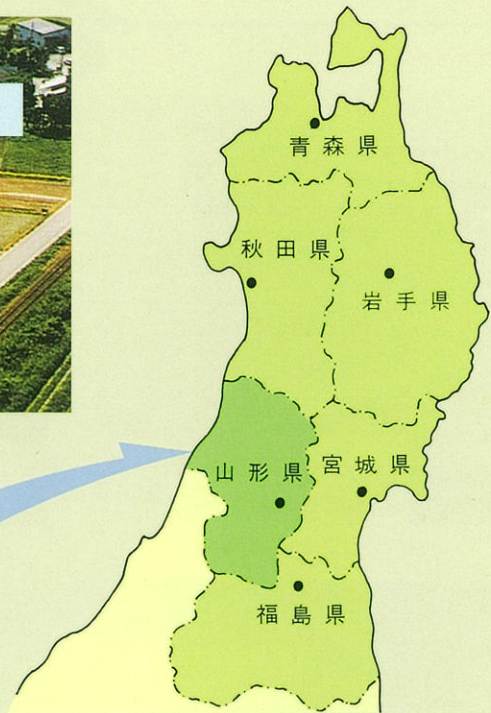
砂 防	
河 川 名	立 谷 沢 川
(直轄砂防対象面積)	(163.8)
流域面積(km ²)	163.8
本川延長(km)	38.5
ダ ム (床固)	(2)
流 路 工 (km)	10.1
年 降 水 日 数 (日)	月ノ沢 146
	清 川 258
年 降 水 量 (mm)	月ノ沢 1,500~3,000
	清 川 2,000~2,700
降 雪 日 数 (日)	月ノ沢 110
	清 川 101
最 大 積 雪 深 (cm)	月ノ沢 435
	清 川 91
年 新 積 雪 深 累 計 (cm)	月ノ沢 1,281
	清 川 316



▲砂防工事が始まってからの暴れ川は除々におとなしくなり、今は川辺の緑を大切にしています。また地元の特性を活かした環境づくりに積極的に取り組んでいます。



◀ 大規模な本沢第四ダム、砂防ダムは満砂してから洪水時には急激な土砂流出を調整し、下流における土砂災害を未然に防止する機能も備えています。完成は昭和50年11月、着手から完成まで8年も費やしました。



ご利用案内

開館時間／月曜日～金曜日
(9:00～16:00)

休館日／土曜日・日曜日
祝日・年末年始

砂防資料館までの交通のご案内

- J R 仙台—狩川(急行) 3時間25分
新潟—狩川(急行) 2時間35分
JR陸羽西線狩川駅下車徒歩5分
- 自動車 山形—狩川 2時間
新潟—狩川 1時間
- 飛行機 札幌—山形空港 1時間10分
大阪—山形空港 1時間55分
東京—山形空港 55分
〈山形空港—狩川(車で)〉 1時間30分
東京—庄内空港 50分
大阪—庄内空港 1時間10分
庄内空港—立川町一車で25分

〈お問い合わせ〉

東北地方建設局新庄工事事務所 立谷沢川砂防出張所

〒999-66 東田川郡立川町大字狩川
字堅田20-23

☎(0234)56-2050

クリーン度No.1の立谷沢川

砂防のあゆみ

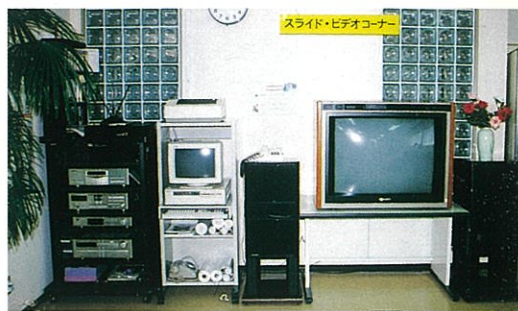
そして未来へ

"砂防" 大自然と人間の営みへの架橋であってほしいと、私達は考えている。
過去から現在そして未来へ永遠に……。

新庄工事事務所の半世紀にわたる砂防事業の技術・資料・情報の集大成を砂防資料館に保存展示して一般公開を行っています。
みなさまのより深いご理解と今後の砂防事業の発展を願いながら。

自然と調和する砂防事業

そこに親しみと安らぎが生まれる



▲「ビデオ」コーナー

▼「鉱物資料コーナー」



▲「資料・古文書」コーナー



「パンフレット」コーナー▶



▲「砂防施設配置模型」コーナー



▲「災害記録」コーナー



▲オーストラリアからの留学生が勉強のため館内見学を



スイス国から来日された河川局長次長(多自然工法)をはじめ、水文学関係の専門家のみなさんが見学されました。

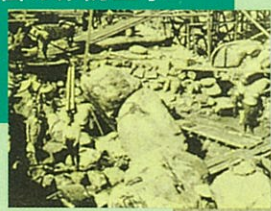


▲「ゲーム」コーナー



▶銅山川流域
上湯台シラス地帯

昔の砂防工事



▲濁沢第2ダム工事中

▶濁沢第2ダム完成の
写真

濁沢第2ダム工事は昭和14年から着手し16年に完成した。作業員は女性が多く、工事も難工事であり、飯場の食糧集めから一切直営で行った。



▲角川流域における
中沢ダム工事状況

現在の砂防工事



▲「砂防事業」コーナー



▲「砂防施設」コーナー

新しい砂防事業

地域の特性、発展性を考え施設周辺をより快適に親しみやすい砂防事業というものを考えています。



▲「器具展示」コーナー

